

## マイナンバーカード取扱時の留意事項について

対面による取引時確認の本人確認書類に偽造マイナンバーカードが悪用されている昨今の実態に鑑み、デジタル庁より、別添の通り、「マイナンバーカードのセキュリティ対策について（券面）」の資料の提供がございました。

協会加入の事業者様に共有いただきまして、マイナンバーカードによるなりすまし等の不正事案を未然に防止するためのお願いするものです。

なお、マイナンバーカード券面の目視確認のほか、I Cチップに記録された券面情報を読み込むことによって、より厳格にマイナンバーカードの真正性を確認することが可能となるため、同じくデジタル庁より提供を受けた「個人番号カード対応版券面事項表示ソフトウェア」のとおり、現在、当該I Cチップを読み取ることが可能なソフトウェア（対応OSについては、Windows10、11に限る。）をJ-LISが無償で提供しておりますので、併せて周知をお願いいたします。

経済産業省 製造産業局

# マイナンバーカードのセキュリティ対策について（券面）

おもて面



①パールインキ

③レーザーエンゲレーブ

②シェーディング加工

うら面



③レーザーエンゲレーブ

セキュリティ対策	内容と必要性
①パールインキ	見る角度によって2色に変化して見え、偽変造が困難
②シェーディング加工	顔写真のエッジにぼかし加工を施すことで、顔写真の貼り替えが困難となる
③レーザーエンゲレーブ	レーザー光でカード基材を黒く変質させることで印字する技術で、偽変造が困難となる

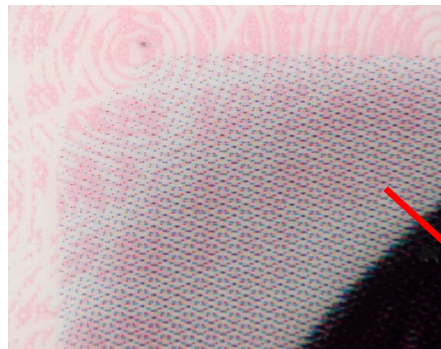
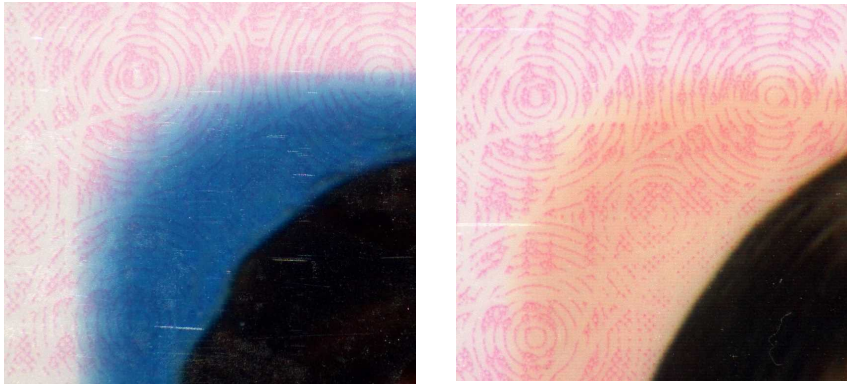
## ①パールインキ



右上のマイナちゃんのマークの背景については、パールインキで印刷されており、見る角度によって、緑色と桃色に見える。

上の図のように、カードを前方・後方に傾けることでマイナちゃんのマークの背景の色が変わって見える。※左右に傾けても同様

## ②シェーディング加工



顔写真の周囲にぼかし加工がされている。  
※顔写真の背景の色により、ぼかし加工の色合いは異なる。

## ③レーザーエンゲレーブ



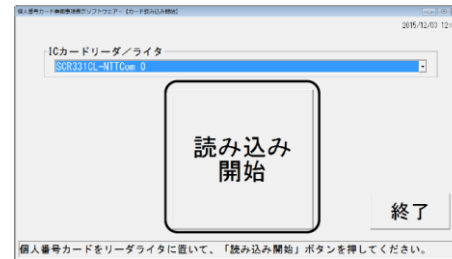
氏名・住所・生年月日・性別などの文字をレーザーで印字している。

# 個人番号カード対応版 券面事項表示ソフトウェア

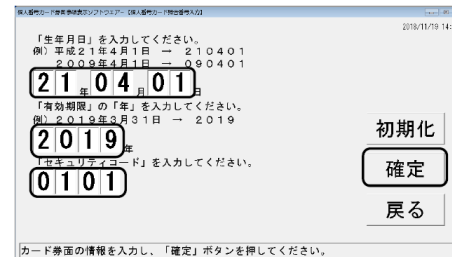
- ・ J-LISが提供する券面事項表示ソフトウェアで、マイナンバーカードのICチップの情報を読み取ることが可能
- ・ 読み取りには、Windows10又は11搭載PCとType B 通信に対応したカードリーダーが必要

<読み取りの流れと操作画面>

①カードリーダーにカードを置いて、読み込み開始

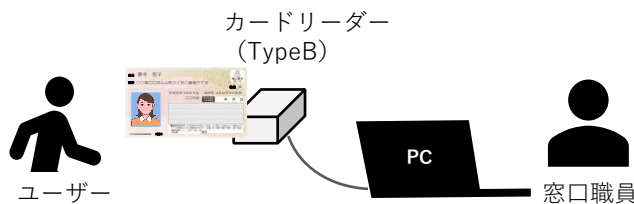


②ICチップのデータにアクセスするため、照合番号を入力



※照合番号は、券面に記載された生年月日、有効期限の西暦、セキュリティコード

③ICチップから読み出された情報がPC画面に表示される



ソフトウェアは、『マイナンバーカード総合サイト』の交付申請書等ダウンロードページより取得できます。

[交付申請書等ダウンロード - マイナンバーカード総合サイト \(kojinbango-card.go.jp\)](https://www.kojinbango-card.go.jp/)